

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7299 URL http://www.oozx.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深谷 研 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 生地 志 朗 (TEL) (0537) 35-5873
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,939	2.5	977	4.8	1,196	△8.2	1,149	47.7
27年3月期第3四半期	12,627	6.7	932	6.3	1,303	4.5	778	△21.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 725百万円(△16.6%) 27年3月期第3四半期 869百万円(△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	55.91	—
27年3月期第3四半期	37.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,202	24,090	84.1
27年3月期	27,480	24,029	84.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 23,724百万円 27年3月期 23,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.5	1,200	18.5	1,400	△11.2	1,100	17.1	53.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	20,559,500株	27年3月期	20,559,500株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	15,252株	27年3月期	13,154株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	20,545,648株	27年3月期3Q	20,546,464株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国を始めとするアジア新興国経済の減速や原油安による資源国経済の下落傾向も加わり、先行き不透明な状況で推移しました。

一方、国内経済は政府の経済政策や円安を背景に企業収益や雇用・所得環境は緩やかな回復基調が継続しました。

当社グループの属する自動車業界につきましては、国内は軽自動車の需要の落込みが継続し低水準となりましたが、中国において10月から実施された小型自動車の取得税減税による需要回復及び北米を中心とした好調な海外需要が国内需要を補い総じて堅調に推移しました。

このような市場環境の中、当社グループは顧客の要請に応えるべく積極的にグローバル展開を進めてまいりました。北米の主要顧客である日系自動車メーカーの現地生産化に対応するため、来年度上期の稼働に向け、FUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V.の工場建設も順調に進めております。

なお、国内生産拠点においては静岡工場のLED化等の将来に向けた投資及び藤沢工場の刷新を推進し、継続的な生産性の向上、原価改善に努めてまいりました。

これにより、売上高は12,939百万円（前年同期比312百万円増）、営業利益は977百万円（前年同期比45百万円増）、経常利益は1,196百万円（前年同期比107百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,149百万円（前年同期比371百万円増）となりました。

なお、当社グループは、従来「自動車部品製造」、「流通」の2事業を事業セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「自動車部品製造」の単一セグメントに変更しております。

流通事業の規模縮小により、流通事業の重要性が低下したこと、及び、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から、「自動車部品製造」及び「流通」は一体的な事業と捉えることが合理的であり、事業セグメントは「自動車部品製造」の単一のセグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は28,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加しております。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は15,512百万円と前連結会計年度末に比べ1,085百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・関係会社株式の売却等により現金及び預金が481百万円増加しております。
- ・商品及び製品が176百万円増加しております。
- ・流動資産（その他）に含まれている預け金が135百万円増加しております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は12,690百万円と前連結会計年度末に比べ363百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・設備購入により有形固定資産は、648百万円増加しております。
- ・投資その他の資産（その他）に含まれる関係会社株式は、株式売却により1,104百万円減少しております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は4,039百万円と前連結会計年度末に比べ830百万円増加しております。主な要因は次のとおりであります。

- ・関係会社株式売却益の発生等により未払法人税等が429百万円増加しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる未払金が、設備購入の増加等により546百万円増加しております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は73百万円と前連結会計年度末に比べ169百万円減少しております。主な要因は次のとおりであります。

- ・固定負債（その他）に含まれる繰延税金負債が168百万円減少しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は24,090百万円と前連結会計年度末に比べ61百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月22日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が20,471千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,436,642	6,917,365
受取手形及び売掛金	4,034,013	4,041,137
商品及び製品	675,961	851,797
仕掛品	610,060	628,951
原材料及び貯蔵品	787,382	792,560
その他	1,889,567	2,286,612
貸倒引当金	△6,000	△6,000
流動資産合計	14,427,626	15,512,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,314,930	3,184,855
機械装置及び運搬具(純額)	3,970,438	3,871,546
土地	2,937,785	3,011,857
その他(純額)	828,884	1,632,115
有形固定資産合計	11,052,037	11,700,374
無形固定資産		
のれん	3,909	2,606
その他	57,970	86,057
無形固定資産合計	61,879	88,663
投資その他の資産		
その他	1,967,838	929,533
貸倒引当金	△29,050	△29,050
投資その他の資産合計	1,938,788	900,483
固定資産合計	13,052,704	12,689,520
資産合計	27,480,330	28,201,943
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,880,700	1,862,618
未払法人税等	136,819	565,852
賞与引当金	42,432	53,921
役員賞与引当金	35,700	—
その他	1,113,481	1,556,310
流動負債合計	3,209,133	4,038,701
固定負債		
役員退職慰労引当金	867	1,452
環境対策引当金	24,499	24,499
退職給付に係る負債	39,574	41,252
その他	177,253	6,292
固定負債合計	242,192	73,494
負債合計	3,451,326	4,112,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,748,981
利益剰余金	17,156,546	18,099,706
自己株式	△6,526	△7,562
株主資本合計	22,938,119	23,859,773
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	314,526	△64,581
退職給付に係る調整累計額	△80,263	△70,856
その他の包括利益累計額合計	234,264	△135,437
非支配株主持分	856,621	365,411
純資産合計	24,029,004	24,089,748
負債純資産合計	27,480,330	28,201,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,627,208	12,939,179
売上原価	10,045,477	10,079,974
売上総利益	2,581,731	2,859,205
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	555,693	614,953
賞与引当金繰入額	2,268	6,120
退職給付費用	35,471	43,327
その他	1,056,543	1,217,896
販売費及び一般管理費合計	1,649,975	1,882,295
営業利益	931,756	976,910
営業外収益		
受取利息	46,423	25,363
受取配当金	1,860	2,220
持分法による投資利益	194,941	208,124
為替差益	93,054	—
その他	54,208	33,374
営業外収益合計	390,486	269,081
営業外費用		
支払利息	892	895
固定資産除却損	10,453	8,567
為替差損	—	33,150
その他	7,945	7,086
営業外費用合計	19,291	49,698
経常利益	1,302,950	1,196,293
特別利益		
関係会社株式売却益	—	501,666
特別利益合計	—	501,666
特別損失		
事業整理損	93,156	—
特別損失合計	93,156	—
税金等調整前四半期純利益	1,209,794	1,697,959
法人税、住民税及び事業税	409,885	776,781
法人税等調整額	△11,628	△238,760
法人税等合計	398,257	538,020
四半期純利益	811,537	1,159,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,833	11,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	777,704	1,148,619

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	811,537	1,159,939
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	79,036	△484,205
退職給付に係る調整額	5,536	9,407
持分法適用会社に対する持分相当額	△26,621	39,879
その他の包括利益合計	57,950	△434,918
四半期包括利益	869,487	725,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	815,642	778,919
非支配株主に係る四半期包括利益	53,845	△53,898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年1月28日開催の取締役会において、当社及び三菱重工工作機械株式会社(以下「三菱重工工作機械」といいます。)の自動車用エンジンバルブ事業を統合(以下「本事業統合」といいます。)することに関して、三菱重工工作機械との間で中空バルブ(下記「注1」及び「注2」参照)事業に係る株主間契約(以下「本株主間契約」といいます。)を締結のうえ、本株主間契約に基づき、当社が子会社(会社名:フジホローバルブ株式会社(予定))(以下「本子会社」といいます。)を設立し、本子会社において、当社の軸中空バルブ(注1)事業及び三菱重工工作機械の傘中空バルブ(注2)事業における中空製造工程の製造事業に係る各権利義務を会社分割により承継することを決議いたしました。

併せて、本事業統合のうち中実バルブ(注3)事業について、三菱重工工作機械における同事業を当社が譲り受けることについても決議し、同日事業譲渡契約を締結いたしました。

(注1) エンジンバルブのうち、軸内部を空洞にした製品をいいます。

(注2) エンジンバルブのうち、軸内部及びヘッド(一般に「傘」といわれます。)内部を空洞にした製品をいいます。

(注3) エンジンバルブのうち、内部に空洞のない製品をいいます。

1. 合併会社設立の目的

当社は、自動車用エンジンバルブ事業における競争力を高め、事業規模の維持・拡大を図るためには、多様な製品展開と量産効果に伴うコストダウンを実現することが有効かつ不可欠であるとの判断の下、当社及び三菱重工工作機械の自動車用エンジンバルブに係るノウハウや強みを相互に提供し、その相乗効果を最大限発揮させ、市場シェアの拡大やプレゼンスの向上を図ることを目的として、同社との間で業務提携を行うこととし、新たに設立する本子会社において両社の中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業をそれぞれ吸収分割により承継することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

(1)名称	フジホローバルブ株式会社 (予定)
(2)所在地	静岡県菊川市三沢1500番地の50
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 統
(4)事業内容	輸送用機械器具、原動機及び汎用機その他一般機械器具関連部品の製造、検査及び技術提供
(5)資本金	1,000百万円
(6)設立年月日	平成28年2月2日 (予定)
(7)吸収分割効力発生日	平成28年4月30日 (予定)
(8)出資比率	フジオーゼックス株式会社 68.1% 三菱重工工作機械株式会社 31.9%
(9)当社との関係	
資本関係	当社において本子会社を設立後、当社及び三菱重工工作機械がそれぞれの中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業に係る各権利義務を本子会社に対して会社分割により承継させることにより、当社が68.1%、三菱重工工作機械が31.9%の出資割合となります。
人的関係	代表取締役社長として当社取締役鈴木統、取締役として当社従業員土山宏幸、監査役として当社監査役河野新治が就任予定です。
取引関係	当社は、合弁会社に対して軸中空バルブ及び傘中空バルブに係る中空製造工程を委託します。

3. 事業の譲受について

(1) 譲り受ける相手会社の名称	
①名称	三菱重工工作機械株式会社
②事業内容	工作機械、切削工具、エンジンバルブ及びその関連製品の設計、製造、販売並びにコンサルティング、同製品の据付、操作指導、修理、改造、点検、保管等
(2) 譲り受ける事業の内容	中実バルブ事業
(3) 譲受け価額、譲受け資産・負債の額	
①譲受け価額	188百万円
②譲受け資産の額	262百万円
(4) 事業譲受け期日	平成28年4月30日 (予定)

(注) 上記金額は、平成27年12月31日時点の帳簿価額で試算しているため、実際に譲り受ける金額は、上記金額に本譲受けの効力発生日の前日までの増減を調整した上で確定いたします。